【資料掲載場所】
かながわの水質事故（https://www.pref.kanagawa.jp/docs/pf7/suisitu/hassei/joukyou.html）

令和８年度水質事故発生状況

発生日	市町村	発生場所			区分				原因	事故概要及び対応
		水系	支川等	発生場所	魚死亡	油浮遊	その他(内容)			
4/2	松田町	酒匂川	川音川	松田惣領		○			交通事故	松田町上下水道課から、車両事故により水路に油が流出したとの通報。町が設置したオイルマットにより水路の油を全て回収。生物への影響はなかった。
4/15	平塚市	相模川	馬入排水路	西八幡		○			事業所	大型トラックの燃料チューブが外れて軽油が約10リットル流出した。消防等が公道上及び事業所敷地内の油を回収したが、一部が道路側溝に流入した。市は原因者へ油の回収を指示。水路への油流出及び生物への影響はなかった。
4/15	平塚市	相模川	天神森排水路	大神～天神橋		○			不明	市民から天神森排水路に油が浮遊していると平塚市環境保全課に通報。市は油浮遊周囲及び本川合流前の水門付近にオイルマットを設置。市が付近の事業所に立入を行ったが、発生源を特定できなかった。生物への影響はなかった。
4/22	大井町	森戸川(小田原)	菊川	上大井			○	白濁	事業所	大井町職員が水路が白濁していることを発見。原因は、事業所にて製造工程で発生する沈殿物を含む水を別容器に移すためのホースが外れ、河川へ流出したものと判明。流出量は最大50リットル。原因者への立入検査を行い、再発防止等を指導。生物への影響はなかった。
5/7	鎌倉市	神戸川	ー	津西			○	白濁	不明	市民から河川が白濁していると通報を受け、鎌倉市環境保全課が原因調査をしたが、発生源を特定できなかった。生物への影響はなかった。
5/11	鎌倉市	神戸川	ー	津西			○	白濁	不明	市民から河川が白濁していると鎌倉市道路河川管理課が通報を受け、市環境保全課が原因調査をしたが、発生源を特定できなかった。生物への影響はなかった。
5/21	藤沢市	引地川	一色川	葛原		○			事業所	市民からの通報を受けた藤沢市環境保全課が現地確認し、作業場から道路と側溝へ軽油が流出していることを確認。原因は屋外保管していた軽油のポリタンクが転倒したためと判明。流出量は最大60リットル。市がオイルマットで路上の油を回収したほか、原因者へ再発防止を指導。生物への影響はなかった。
5/23	鎌倉市	境川	小袋谷川	台		○			工事	市民が河川への油流出を発見し、原因者から解体工事現場地下の灯油タンクが破損して灯油が河川に流出したと鎌倉市消防に連絡。流出量は不明。原因者が河川にオイルマットを設置するとともに、市消防の指導により破損したタンクを撤去。県及び市が原因者へ河川の状況監視、オイルマットの継続設置等を指導。生物への影響は確認されていない。

【資料掲載場所】
かながわの水質事故（https://www.pref.kanagawa.jp/docs/pf7/suisitu/hassei/joukyou.html）

令和８年度水質事故発生状況

発生日	市町村	発生場所			区分			原因	事故概要及び対応
		水系	支川等	発生場所	魚死亡	油浮遊	その他(内容)		
6/10	箱根町	早川	早川	強羅		○		その他	原因者からタンクローリーから重油が最大100リットル流出したと箱根町消防に連絡。消防が側溝及び下流の堰堤にオイルマットを設置。原因は、タンクローリーから地下の重油タンクに給油する際、ポンプの誤操作で重油が逆流したためと判明。原因者に油の回収や再発防止を指導。生物への影響はなかった。
6/10	藤沢市	引地川	ー	下土棚大橋		○		不明	事業者から藤沢市環境保全課に下土棚大橋で油膜が広がっていると通報。市が橋の上流で雨水管はけ口から油の流出を確認。油膜が確認された雨水管付近、橋の下流の河川及び雨水管上流のマンホール内にオイルマット等を設置。原因調査をしたが、発生源を特定できなかった。生物への影響はなかった。
7/1	三浦市	湾(運河含む)	境川（陣屋川）	南下浦町上宮田	○			不明	横須賀土木事務所から魚死亡の通報があり、三浦市環境課及び下水道課、横須賀海上保安部、横須賀三浦地域県政総合センターが現地調査を行った。小魚等死亡魚約1,000匹を回収。原因調査を行ったが、発生源を特定できなかった。
7/2	開成町	酒匂川	要定川	延沢		○		交通事故	小田原消防本部から要定川に接続する道路側溝に油が流出したとの連絡。原因は、縁石に乗り上げた乗用車からエンジンオイルが最大３リットル流出したためと判明。消防が吸着剤で油を回収。生物への影響はなかった。
7/6	藤沢市	引地川	ー	引地川橋		○		不明	市民から引地川橋付近に油が流出していると藤沢土木事務所へ通報。藤沢市環境保全課が引地川橋の直下にオイルマットを設置。原因調査を行ったが、発生源を特定できなかった。生物への影響はなかった。
7/8	三浦市	湾(運河含む)	ー	三崎		○		不明	漁業協同組合関係者から三崎港で油浮遊の通報があり、三浦市環境課が船揚場で油膜を確認した。県東部漁港事務所、横須賀海上保安部、警察、消防が現地を確認し、横須賀海上保安部が航走拡散により油防除を行った。生物への影響はなかった。

【資料掲載場所】
かながわの水質事故（https://www.pref.kanagawa.jp/docs/pf7/suisitu/hassei/joukyou.html）

令和８年度水質事故発生状況

発生日	市町村	発生場所			区分				原因	事故概要及び対応
		水系	支川等	発生場所	魚死亡	油浮遊	その他(内容)			
7/9	綾瀬市	引地川	蓼川	本蓼川墓園			○	白濁	不明	厚木土木事務所東部センターから白濁が流れていると県央地域県政総合センターへ通報があり、綾瀬市環境保全課が現地確認したところ、鶴島橋付近で白色浮遊物を発見した。原因調査を行ったが、発生源を特定できなかった。生物への影響はなかった。
7/9	愛川町	相模川	相模川	中津			○	白濁	工事	町内事業者から愛川町環境課に通報があり、現地確認したところ排水路が白濁していた。原因は、解体工事現場から粉じんを含む水が流出したためと判明。県央地域県政総合センターは原因者へ清掃を指示。生物への影響はなかった。
7/28	平塚市	湾(運河含む)	ー	千石河岸（平塚新港）		○			交通事故	車両が海に転落する事故が発生した翌日、平塚市農水産課が水面に油膜を発見した。市と原因者が港湾内にオイルフェンスを設置。原因者へ油の拡散防止、清掃及び事故報告書の提出等を指示。生物への影響はなかった。
8/15	藤沢市	境川	ー	西俣野		○			事業所	市民から水路に重油が流れていると藤沢市消防に通報。原因は、オイルタンクの配管等から重油が流出したためと判明。流出量は不明。市が水路にオイルマットを設置するとともに、原因者へ清掃等を指示。境川本川への油膜は確認できず、生物への影響はなかった。
8/28	二宮町	葛川	ー	一色		○			不明	事業者から河川に油が浮いていると二宮町生活環境課へ通報。平塚土木事務所が清水橋下流にオイルフェンスを設置。原因調査を行ったが、発生源を特定できなかった。生物への影響はなかった。
9/4	綾瀬市	相模川	目久尻川	神崎橋		○			不明	市民から藤沢市環境保全課に通報があり、現地確認したところ神崎橋右岸の排出口から油が流出していた。綾瀬市が排出口にオイルマットを設置。下流の寒川町でも町民から油浮遊の通報があり、藤沢土木事務所が久保田橋にオイルフェンスを設置。神崎橋右岸の排出口につながる道路側溝（グレーチング）でオイルの投棄跡を確認したが、原因者の特定はできなかった。生物への影響はなかった。

【資料掲載場所】
かながわの水質事故（https://www.pref.kanagawa.jp/docs/pf7/suisitu/hassei/joukyou.html）

令和８年度水質事故発生状況

発生日	市町村	発生場所			区分				原因	事故概要及び対応
		水系	支川等	発生場所	魚死亡	油浮遊	その他(内容)			
9/9	山北町	酒匂川	滝沢川	東名高速道路65KP付近		○			交通事故	東名高速道路でトラックが横転し、軽油が最大200リットル流出。小田原市消防が吸着剤で油を回収。飯泉取水管理事務所が勝沢橋で採水し、油様臭を確認。生物への影響はなかった。
9/10	鎌倉市	神戸川	ー	腰越		○			不明	市民から通報があり、鎌倉市環境保全課が現地確認したところ、水路で油膜を確認。原因調査を行ったが、発生源を特定できなかった。生物への影響はなかった。
9/18	伊勢原市	金目川	善波川	笠窪	○				不明	市民から魚が浮いていると平塚土木事務所に通報。伊勢原市環境対策課と湘南地域県政総合センターが出口橋付近で手のひらサイズの死亡魚20匹程度を確認。簡易水質検査を行ったが有害物質等は検出されなかった。
9/19	伊勢原市	金目川	矢羽根排水路	矢羽根橋	○				不明	市民から矢羽根排水路で魚が死んでいると伊勢原市環境対策課に通報。市が矢羽根橋で小魚50匹弱の死亡を確認。簡易水質検査を行ったが有害物質等は検出されなかった。
9/19	中井町	中村川	ー	遠藤		○			交通事故	小田原市消防本部から県西地域県政総合センターに交通事故の連絡があり、中井町産業環境課が現地確認したところ、水路に入った事故車両から軽油が流出していた。町がオイルマットで水路の油を回収。生物への影響はなかった。
9/24	鎌倉市	境川	大塚川、柏尾川	常盤			○	白濁	不明	大塚川が白濁していると近隣工事の事業者から鎌倉市環境保全課に通報。市が下流の梶原交番前付近で白濁を確認。簡易水質測定を行ったが異常はなかった。生物への影響はなかった。発生源を特定できなかった。
9/24	大和市	引地川	ー	福田14号橋			○	白濁	不明	河川改修工事中の事業者から白濁があると厚木土木事務所東部センターに連絡があり、大和市環境・公害対策課が簡易水質検査を行ったが有害物質は検出されなかった。原因調査を行ったが、発生源は不明であった。生物への影響はなかった。

【資料掲載場所】
かながわの水質事故（https://www.pref.kanagawa.jp/docs/pf7/suisitu/hassei/joukyou.html）

令和８年度水質事故発生状況

発生日	市町村	発生場所			区分			原因	事故概要及び対応
		水系	支川等	発生場所	魚死亡	油浮遊	その他(内容)		
9/27	平塚市	相模川	馬入排水路	榎木町		○		不明	平塚市消防本部から馬入排水路に油膜があると平塚市環境保全課に通報。市と京浜河川事務所が現地確認を行い、市下水道部局が馬入水門橋付近にオイルマットを設置。市環境保全課が事業所に立入を行ったが、発生源を特定できなかった。生物への影響はなかった。
9/29	山北町	酒匂川	滝沢川	東名高速道路65KP付近		○		交通事故	トラックの交通事故で軽油が流出。流出量は不明。道路管理者が事故現場の油を吸着剤で回収。山北町環境課が東名高速道路下の滝沢川で油膜と油臭を確認。町が滝沢川にオイルマットを設置。生物への影響はなかった。
9/29	伊勢原市	金目川	歌川排水路	小稲葉		○		事業所	湘南地域県政総合センターの環境調整課から環境保全課に油流出の通報。原因は、重機のエンジンオイルをこぼしたためと判明。伊勢原市環境対策課と環境保全課が原因者にオイルマットの設置等を指導。生物への影響はなかった。
9/30	茅ヶ崎市	相模川	千の川	茅ヶ崎		○		不明	市民から川に油膜があると茅ヶ崎市環境保全課に通報。市が梅田橋付近で川幅いっぱいほどの薄い油膜を確認し、オイルマットを設置。原因調査を行ったが、発生源を特定できなかった。生物への影響はなかった。
9/30	平塚市	金目川	花水川	桜ケ丘		○		不明	平塚市下水道整備課から高麗大橋下流側左岸の排水路付近に油膜があると市環境保全課に連絡。市がオイルマットを設置。原因調査を行ったが、発生源を特定できなかった。生物への影響はなかった。